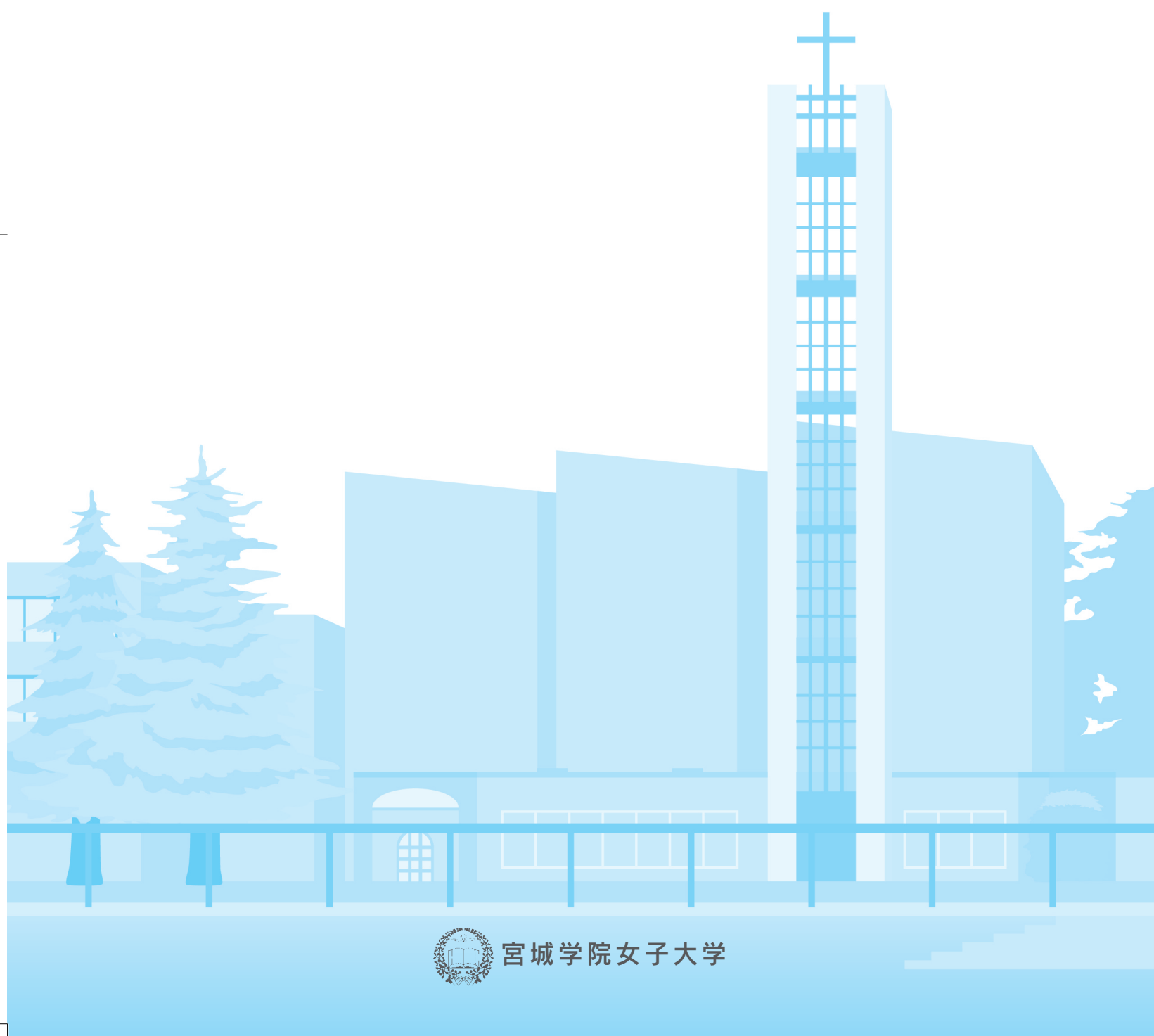


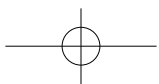
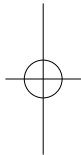
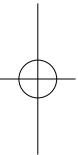
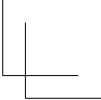
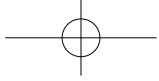
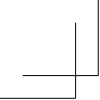
2012年度

学生便覧

— 履修・学生生活のてびき —



宮城学院女子大学



学生便覧について

『学生便覧』は、学則に基づく卒業要件、諸規程、履修、学生生活の心得など、学生生活を送る上で指針となる事項を集約して編集したものです。

「宮城学院について」、「学修計画および履修について」、「学生生活のために」の三部構成になっていますので、機会のあるごとに参照し、十分に活用するようにしてください。

学生生活で、不明な点がある場合は、まず『学生便覧』に目を通してみてください。

また、『学生便覧』の内容に変更が生じた場合には、掲示等でお知らせしますので注意してください。

『学生便覧』は、入学時のみに配布します。卒業するまで紛失しないように注意してください。また、卒業後、各種資格等を取得する場合、単位等の修得を確認する際にも必要となるので大切に保管してください。

※事務室窓口名称を以下のように表記しています

正式名称	学生便覧・学生掲示における表記	場 所
財務施設グループ（財務経理担当）	財務経理担当	本館1階
財務施設グループ（施設調達担当）	施設調達担当	本館1階
学生支援グループ（教務担当）	教務担当	本館2階
学生支援グループ（学事担当）	学事担当	本館2階
学生支援グループ（学生生活担当）	学生生活担当	講義館2階（C204）
学生支援グループ（就職担当）	就職担当	講義館2階（C204）
宮城学院リエゾン・アクション・センター	MG-LAC	講義館2階ビロディ内
学生支援グループ 保健センター	保健センター	本館1階
学生支援グループ 教職センター	教職センター	人文館5階（A502）
教育研究支援グループ（庶務担当）	庶務担当	本館2階
教育研究支援グループ（入試広報担当）	入試広報担当	本館2階

※学科の略称

英文学科	 E	食品栄養学科	 F	国際文化学科	 I
日本文学科	 J	生活文化デザイン学科	 L	心理行動科学科	 P
人間文化学科	 C	発達臨床学科	 D	児童教育学科	 X
音楽科	 M				

もくじ

学生便覧について	3
もくじ	4
キャンパスマップ	6

宮城学院について

本学の沿革・建学の精神・スクールモットー	10
礼拝等について	12
大学の組織と役割	13

学修計画および履修について

学修計画

1 教務事項に関する Q & A	16
2 教務に関する用語について	16
3 授業科目について	17
4 単位の修得方法	18
5 キャップ制	18
6 進級要件不足による進級注意通知と進級不可通知	18
7 卒業要件単位	19
8 卒業延期・留年	19
9 除籍について	19
10 単位互換制度について	19
11 入学以前の既修得単位の認定について	20
12 留学について	20
13 転学科	21
14 研究生・科目等履修生・聴講生	22

履修科目の登録（科目登録）

1 科目登録の規則	25
2 科目登録の手順	25
3 後期科目登録	27
4 科目登録日の変更願	28
5 他学科開放科目の履修について	28

履修にあたっての心得

1 履修登録に際して	29
2 教員から個別指導を受ける場合には	29
3 学外での実習や研修に関して	29

授 業

1 セメスター	30
2 授業回数	30
3 授業時間	30

4 振替授業	30
5 教室変更	30
6 休講	30
7 補講	30
8 出欠	30
9 変更届けについて	31
10 教科書販売	31
11 その他の事項	31

試験および成績評価

1 試験の方法	32
2 受験資格	32
3 筆記試験	32
4 レポート試験	32
5 不正行為	32
6 追試験（試験を欠席する（した）場合）	32
7 再試験	33
8 成績評価と単位認定	33
9 成績発表	33
10 卒業論文等	34

一般教育科目の履修方法

1 人文社会系科目	35
2 自然系科目	35
3 情報科目	36
4 総合科目	36
5 外国語科目	36
6 体育科目	37
7 再度履修科目について	37

各学科の履修方法

英文学科	38
日本文学科	45
人間文化学科	52
音楽科	58
食品栄養学科	74
生活文化デザイン学科	79
発達臨床学科	85
国際文化学科	91
心理行動科学科	101
児童教育学科	109

資格・免許

取得できる資格の種類	116
教育職員免許	117
日本語教員	130

司書	131
司書教諭	131
学芸員資格	132
栄養士免許および管理栄養士国家試験 受験資格取得	134
食品衛生管理者および食品衛生監視員 資格取得	136
一級建築士の受験資格	136
インテリアプランナーの受験資格	138
保育士資格	139
社会福祉士受験資格	141
認定心理士資格	142

編入学

1 編入学生の単位修得方法	144
---------------	-----

学生生活について

事務局

1 事務局・各センターについて	154
2 学籍・学生証（身分証明書）	155
3 学生への諸連絡について	156
4 各種証明書	156
5 願書・届出一覧	158
6 校納金納入について	158

よりよい学生生活のために

1 奨学金	159
2 課外活動について	159
3 事故にあった場合の保険制度	161
4 通学上の注意	162
5 遺失物・拾得物	163
6 事故・盗難	163
7 アルバイト紹介	163
8 学生の意見・要望受付窓口	163

学生のための施設

1 学生相談室（カウンセリング・ルーム）	164
2 保健センター	164
3 図書館	166
4 情報システム室	167
5 ロッカー室	167
6 合宿所	167
7 学寮	167
8 食堂・喫茶・売店	168
9 キャッシュサービスコーナー	168

自己防衛のために

1 ハラスメントのないキャンパスへ	169
2 不審電話・いたずら電話	170
3 痴漢・ストーカー・のぞきに注意	170
4 悪質商法	170
5 学外団体勧誘について	170
6 薬物使用のおそろしさ	171
7 災害時の緊急対策	171

就 職

1 就職活動の心構え	173
2 就職支援	173
3 就職情報閲覧室	173
4 就職関係行事日程	174

環境に対する宮城学院の取り組みについて

宮城学院への交通案内

スクールバス（登下校用）の運行について

学則（抄）・会則集・諸規程

目次	179
----	-----

校舎配置図

目次	201
----	-----

届用紙 欠席届	221
届用紙 変更届	223
届用紙 忌引届	225

キャンパスマップ

自然あふれる広々キャンパス

約 20 万 m² の広大な敷地に、自然の緑と重厚なレンガ色の建物が美しい景観をつくる広々としたキャンパス。
のびやかな雰囲気があふれるこの空間の中には、講義館、図書館、学生センター、講堂、礼拝堂、そして体育館やテニスコートなど充実した学びの環境が整っています。



施設案内



本館
こちらの建物は玄関が2階になります。法人と大学の事務室や会議室などがあります。

人文館

2階には学生用のロッカー室があります。3階には、くの字に曲がった中央ロビーがあり、このロビーをはさんで、西と東にそれぞれ発達臨床学科と日本文学科があります。両学科の研究室・図書室・会議室・演習室・湯沸室のほか、発達臨床学科には心理学の実験室・実習室があり、日本文学科には学会室があります。4階には人間文化学科、心理行動科学科、英文学科、5階には一般教育科があり、各学科の研究室・図書室・会議室・演習室が並んでいます。学生相談室（A301）は3階ロビーのすぐそばにあります。生涯学習センター（A448）は4階に。5階には国際交流センター（A547）、教職センター（A502）、キリスト教文化研究所・発達科学研究所・文化学会・人文社会科学研究所（A548）があります。



実習館

こちらの建物には発達臨床学科、児童教育学科の実習関係の部屋があります。美術室、栄養実習室、音楽室、体育実習室などです。また、ピアノプラクティスルーム16室、ピアノレッスン室14室が並んでいます。さらには宮城学院の資料室もあります。

講義館

講義室は大小あわせて32教室あります。また、LL教室・国際文化学科図書室・標本室・情報教育センター・理科実験室・芸術実習室・視聴覚教室・研究室などがあります。また、中央芝生広場に面した2階には、大きなロビーと喫茶コーナー「ブリックハウス」があります。



音楽館

防音効果の高いピアノプラクティスルーム21室・オルガンプラクティスルーム・合奏室・レッスン室24室・研究室7室・ソルフェージュ室・音楽理論室のほか、録音スタジオがあります。また、300人収容の奏楽堂「ハンセン記念ホール」があり、コンサート・リサイタルなどに使用されます。音響が内外に与える影響を考え、建物は独特な外観となっています。

家政館

1階は調理関係の実習室及び第2情報教育センター、2階は食品栄養学科の実験室、3階は食品栄養学科の実験室・実習室、生活文化デザイン学科製図室などがあります。4階は被服関係、家政関係の実習室・演習室・研究室などがあります。屋上階には動物実験の作業室があります。

第二家政館

家政館の裏側にあり、1階は実験室、2階は講義室、3階は第5情報教育センターになっています。





大学図書館

1 階には 204 席の閲覧室と書庫、3 階には閲覧室・事務室・会議室・選書室・視聴室のほか、院生図書室・レファレンスなどがあります。4 階にはブラウジングルームがあります。講義館とは渡廊下で連結されています。

礼拝堂

東壁面に大きなステンドグラスのある 607 人収容の礼拝堂があり、その他に小礼拝堂兼クワイヤー室・YWCA 室などがあります。また、建物外にペルタワーがあり、朝夕や礼拝時に鐘の音を響かせます。



大学講堂

ステージに音響反響板を備えた 1,154 席のホールです。

学生センター

1 階には学生食堂（333 席）と厨房があります。2 階には小ホール（370 席）があり、演劇・フォークダンス・合奏合唱の発表や練習に使用されます。3・4 階はクラブ室 44 室のほか、学友会室・会議室・放送室・印刷室などがあります。また、茶室・和室があり、講義館と学生センターの間にうふカフェがあります。

同窓会館

同窓会事務室・会議室・宮城学院歴史資料室があります。歴史資料室は資料を常時展示して公開されています。1 階には教職員食堂・厨房などがあります。同窓会館隣には ATM コーナーが設置してあります。

大学体育館

メインフロアはバスケットコートなら 2 面、バレーコートなら 3 面、バドミントンコートなら 8 面とれます。また、健康科学測定室やトレーニングセンターがあります。

幼稚園

保育室 6 室・遊戯場・教員室・園長室・会議室などがあります。屋外には直径 6 m 深さ 40cm の円形プールがあり、園庭には木製の遊具が設置されています。

屋内プール

中・高・大の共有施設です。25 m x 7 コースの温水プールです。

宮城学院について

本学の沿革・建学の精神・スクールモットー

宮城学院は、福音主義キリスト教に基づいて学校教育を行い、神を畏れ敬い、自由かつ謙虚に真理を探究し、隣人愛に立ってすべての人格を尊重し、人類の福祉と世界の平和に貢献する女性を育成することを建学の精神として、1886年（明治19年）、宮城女学校の名で創設されました。それはアメリカの改革派教会派遣の宣教師たちと日本人のキリスト者たちとの協同と祈りの結晶でした。

以来、明治、大正、昭和の時代を通して女子の高等専門教育を担う専攻科（聖書・家政・英文・音楽の各専攻科）を次々に設置し、戦後の学制改正により高等女学校は宮城学院中学校・高等学校となり、女子専門学校は宮城学院女子大学・短期大学（附属幼稚園も付設）となって、女子教育の一大総合学園として現在に至っております。

現在、大学院（修士課程）は2研究科5専攻、大学（学芸学部）は10学科から成り、普通科の高等学校（2つのコース）と中学校及び大学附属幼稚園を擁しております。

ことに、宮城学院女子大学は、戦後の学制改革によって最も早く東北最大の女子大学となり、高度の学的水準をもつ有為な卒業生を多く輩出し、現キャンパスに移転してからは学科の増設と整備をはかって、さまざまな職種に求められる幾つもの資格を取得できる専門性ゆたかな教育の充実に努めて高い評価を得てきております。

長い伝統と歴史をもつ優れた欧米の多くの大学は、創設以来、学門研究とキリスト教（礼拝）を大事にしてきました。それは、高等教育機関としての大学では、専門的な知識や技術の修得と共に、高潔な精神の涵養が求められているからです。

それゆえ、宮城学院女子大学に入学された皆さんは、どの学科のカリキュラムでも必修科目である「キリスト教学Ⅰ（一年次）」「キリスト教学Ⅱ（四年次）」の講義を通して、より深い知性を身につけ、豊かな感性を養うように心がけてください。そのためには、礼拝堂で毎週月・水・金の昼に行われている礼拝に積極的に出席するように心がけ、さらに、教科目の修得と共に各種のサークル活動やボランティア活動などにも積極的であってください。

「神を畏れ、隣人を愛する」をスクールモットーとする宮城学院は、幼稚園、中学校、高等学校、女子大学、大学院を通して一貫した建学の精神を堅持し、高い品性・豊かな教養と秀でた能力を身につけて21世紀の世界で活躍する女性を送り出す総合教育機関であります。

建学の精神

『宮城学院は、福音主義キリスト教の精神に基づいて学校教育を行い、神を畏れ敬い、自由かつ謙虚に真理を探究し、隣人愛に立ってすべての人の人格を尊重し、人類の福祉と世界の平和に貢献する女性を育成する。』

宮城学院のスクール・モットー

『神を畏れ、隣人を愛する』



初代校長 E. R. プールボー

- 1885年（明治18年） 12月 「日本基督一致教会」仙台教会牧師押川方義は、東京で「合衆国改革派（ジャーマン・リフォームド）教会」宣教師ホーイと会見し仙台に神学校および女学校設立の必要性を説く
- 1886年（明治19年） 1月 グリング、モール、ホーイの三氏によるミッション会議が開催され、仙台に神学校および女学校の設立を決定し、「合衆国改革派教会」外国伝道局に具申
- 5月15日 仙台神学校（のちの東北学院）創立（校長押川方義）
- 7月2日 ミス・プールボー、ミス・オールド来日
- 9月18日 押川方義、ホーイ、首藤陸三、グリング、ミス・プールボー、ミス・オールド等によって宮城女学校創立（校主押川方義、初代校長ミス・プールボー）
- 9月24日 東二番丁51番地田辺繁久氏別邸において授業開始
- 1889年（明治22年） 4月 東三番丁162番地に竣工した新校舎に移転
- 7月 献堂式
- 1900年（明治33年） 1年制聖書専攻科設置
- 1912年（明治45年） 4月 3年制家政専攻科設置
- 1913年（大正2年） 4月 3年制英文専攻科設置
- 1916年（大正5年） 4月 3年制音楽専攻科設置。2年制聖書専攻科設置
- 1931年（昭和6年） 音楽科に師範科及び研究科を設置
- 1941年（昭和16年） 2月 財団法人宮城女学校設立認可
- 1943年（昭和18年） 4月 宮城女学校を廃止、宮城高等女学校設置、専攻部を専攻科と改称。3年制国語専攻科を設置
- 1945年（昭和20年） 7月 戦災により校舎のほとんどを焼失
- 1946年（昭和21年） 6月 「専門学校令」による宮城学院女子専門学校設置認可（育児科、国語科、外国（英）語科、音楽科設置）
- 7月 宮城高等女学校は、宮城学院高等女学校と改称
- 1947年（昭和22年） 4月 宮城学院中学校設置
- 1948年（昭和23年） 4月 宮城学院高等学校設置
- 1949年（昭和24年） 2月 宮城学院女子大学設置認可（英文学科、音楽科）
- 4月 大学開設
- 1950年（昭和25年） 3月 宮城学院女子短期大学設置認可（家政科、国文科）
- 1951年（昭和26年） 3月 学校法人宮城学院設立認可。宮城学院女子専門学校廃止
- 1954年（昭和29年） 3月 大学附設幼稚園教員養成所設置認可
- 1955年（昭和30年） 1月 短期大学保育科設置認可
- 1956年（昭和31年） 3月 短期大学附属幼稚園設置認可
- 1959年（昭和34年） 1月 大学に家政学科設置認可
- 1964年（昭和39年） 1月 大学学芸学部日本文学科、短期大学に教養科設置認可
- 1980年（昭和55年） 10月 仙台市桜ヶ丘九丁目1-1に総合移転完了、献堂式
- 1986年（昭和61年） 10月 創立百周年記念式典挙行
- 1988年（昭和63年） 12月 短期大学国際文化科設置認可
- 1994年（平成6年） 12月 大学学芸学部人間文化学科設置認可
- 1995年（平成7年） 4月 大学院人文科学研究科設置（英語・英米文学専攻、日本語・日本文学専攻）
- 1996年（平成8年） 3月 短期大学教養科廃止
- 1999年（平成11年） 4月 大学院人文科学研究科に人間文化学専攻増設
- 10月 大学・短期大学設置50周年記念式典挙行
- 2000年（平成12年） 4月 大学学芸学部食品栄養学科、生活文化学科、発達臨床学科、国際文化学科設置
- 2001年（平成13年） 3月 宮城学院女子短期大学廃止
- 2005年（平成17年） 4月 大学院人文科学研究科に生活文化デザイン専攻増設
- 2006年（平成18年） 10月 創立120周年記念式典挙行
- 2007年（平成19年） 4月 大学学芸学部心理行動科学科、児童教育学科設置
- 2008年（平成20年） 4月 宮城学院女子大学大学院健康栄養学研究科健康栄養学専攻設置
- 2009年（平成21年） 4月 大学学芸学部生活文化学科を生活文化デザイン学科に名称変更
- 2009年（平成21年） 4月 大学院人文科学研究科生活文化デザイン専攻を生活文化デザイン学専攻に名称変更



礼拝等について

1. 礼 拝

月曜日、水曜日、金曜日の昼休みに礼拝を行っています。礼拝時間は、11時50分～12時10分の20分間です。いろいろな異なる価値観に出会い、物事をじっくり考える機会として、また、生きる勇気や慰めを得るかけがえのない時として、これら週三回の礼拝には、折にふれて出席するようにしてください。外部から招かれた信頼できるキリスト教牧師を通して、内容豊富なメッセージ（「説教」と呼ばれています）を聞くことができます。また、本学の教育責任者としての学院長、学長、宗教総主事、宗教センター所長、本学中学校・高等学校の宗教主事などは毎月、礼拝でメッセージを語ります。そのことは、平和を愛し、平和を追求することを人類の偉大な教養として学ぶ必修科目「キリスト教学」と並んで、本学が大学礼拝を教育プログラムとして重視していることの現われです。

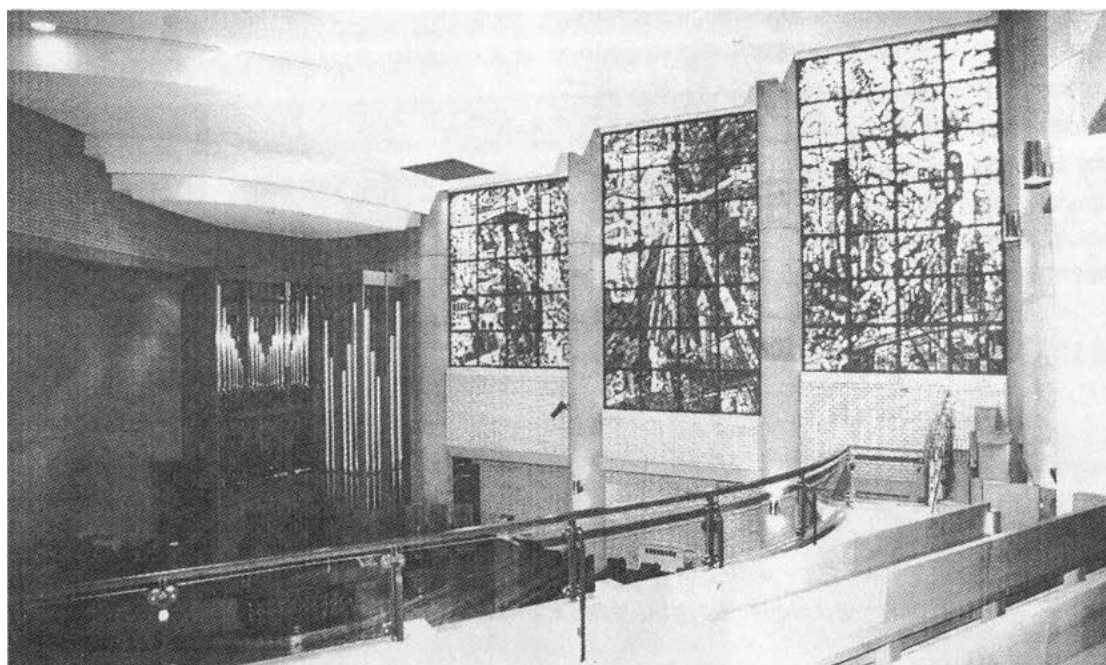
なお、別冊『宮城学院礼拝ガイドブック』を是非、お読みください。

2. キリスト教教育特別集会

毎年6月、著名なキリスト者の学者や文化人を招いて、講演会を開いています。功績主義の名のもとに人が切り捨てられていく世の中の冷たい論理とは異なる考え方にふれるよい機会として、毎年多くの学生が参加しています。

3. YWCA（キリスト教女子青年会）

礼拝堂内の宗教センターでは、YWCAの活動が活発に行われています。聖歌隊、聖書研究、ボランティア活動など、いろいろなことに学生たちが意欲的に取り組んでいます。どなたでも気軽に立ち寄ってください。



大学の組織と役割

(一) 教務部（教務部委員会）

1. 教育目的の実現に向け、教務事項の審議を行うために教務部委員会が設置されている。
2. 委員会では上記の目的を達成するために以下の事項について審議する。
 - 1) 各学科の教育課程の編成
 - 2) 学生の入学・休学・留学・復学・退学・除籍などに関する事項
 - 3) 履修、卒業および学位に関する事項
 - 4) 学生の指導および賞罰に関する事項
 - 5) 大学の行事に関する事項
 - 6) 科目等履修生に関する事項
 - 7) その他、教育目的上必要な教務に関する事項

(二) 入試部（入試部委員会）

1. 本学における入学試験制度を検討し、入学試験の実施に係わる管理および入試広報の適切な実行のために入試部委員会が設置されている。
2. 委員会では以下の事項について審議する。
 - 1) 本学の入学試験制度に関する事項
 - 2) 本学の入試広報に関する事項
 - 3) 本学の入学試験の実施管理に関する事項
 - 4) その他、本学の入学試験に関する事項

(三) 教育研究推進部（教育研究推進部委員会）

1. 大学における教育研究活動を推進・支援し、そのために必要な事項を審議するために、教育研究推進部委員会が設置されている。
2. 委員会では上記の目的を達成するために以下の事項について審議する。
 - 1) 本学の教育ならびに研究の支援体制の整備
 - 2) 教育研究活動に関わる財政的事項
 - 3) 外部資金の申請に係る企画および支援
 - 4) 外部資金の適正な執行に関する事項
 - 5) 全学的な教育研究に関する取り組みの推進および支援
 - 6) その他、教育研究活動に関わる事項

(四) 学生部（学生部委員会）

1. 学校生活の充実と向上を図るため学生部委員会が設置されている。
2. 委員会では上記の目的を達成するために以下の事項について審議する。

- 1) 学生の課外活動に関する事項
- 2) 学寮に関する事項
- 3) 奨学金に関する事項
- 4) 学生相談に関する事項
- 5) 学生の就職活動に関する事項
- 6) その他、学生の生活一般に関する事項

(五) 学術情報部（学術情報部委員会）

1. 図書館の円滑な運営、各種学術情報を利用した教育・研究の支援および推進、ならびにそのために必要な施設設備の整備および維持管理のため、学術情報部委員会が設置されている。
2. 委員会では上記の目的を達成するために以下の事項について審議する。
 - 1) 図書館に関する事項
 - 2) 情報教育および情報利用の支援・推進に関する事項

(六) センター

〈宗教センター〉（宗教センター運営委員会）

1. 宮城学院の建学の精神に基づき、大学における宗教的活動の企画およびその運営にあたる機関として宗教センターが設置されている。
2. 本センターが企画・運営する宗教的活動として、大学の教職員ならびに学生を対象とする礼拝、キリスト教行事、学内講演会等が行われる。
3. 年に2回、主として礼拝でのお話を掲載する「あかり」を発行している。

〈教職センター〉

本学における教職課程関連業務を遂行するために、教職センターが設置されている。

本センターでは以下の業務を行う。

1. 教育課程履修に関わるガイダンス及び助言
2. 教育実習に関わるガイダンス・事前事後の指導助言及び成績評価（実習生個人全員に対する評価付記含む）
3. 介護等体験実習に関わるガイダンス・事前事後の指導助言
4. 教員採用試験に関わるガイダンス・講座開設。資料提供・助言
5. 教職課程に関わる諸行事の企画・開催・運営
6. 教育職員免許状申請に関わるガイダンスおよび助言及び申請書類作成提出
7. 教育実習、介護等体験実習、教育実習校教員巡回訪問、教育職員免許状申請等に関わ

る周辺諸業務全般

8. その他、教職課程に関わる業務

〈生涯学習センター〉

生涯学習の事業を円滑に実施するため生涯学習センターが設置されている。本センターは生涯学習推進委員会の決定に基づき以下の業務を行う。

1. 生涯学習の運営に関すること
2. 生涯学習に係わる調査・広報に関すること
3. 生涯学習に係わる受講生の募集・受入れに関すること
4. その他、生涯学習に関すること
 - A. 生涯学習講座（本センター主催）
（例年約30講座、受講生数約600名）
 - B. みやぎ県民大学（宮城県より受託）
 - C. 各団体の依頼に応じた講師の派遣
 - D. 現任保育士研修（宮城県より受託）

〈国際交流センター〉

本学教員の研究教育に係わる海外出張、本学学生の海外留学、およびカリキュラムに係わる海外渡航、外国人研究者・教員の研究教育に係わる本学への受け入れならびに外国人留学生の入学など、国際的な研究教育事業の実施に関する諸業務を担当する機関として国際交流センターが設置されている。

本センターでは国際交流委員会の決定に基づく業務のほか、以下の教育的・事務的業務を行う。

1. 本学教員の研究教育に係わる海外出張に伴う渡航、在外居住等に関する申請、通信、連絡等の公的業務
2. 本学学生の海外留学に関する資料提供、助言、および実施に付帯する公的業務
3. 本学学生のカリキュラムに係わる海外研修、海外実習の企画・立案に係わる資料収集、事前調査、ならびに学生に対する説明および付添い、その他の実施に伴う公的業務
4. 本学において研究教育に従事する外国人研究者に係わる渡航関係業務、居住・生活上の問題に関する連絡・助言、および研究教育の遂行に係わる公的業務
5. 外国人留学生の受け入れに伴う渡航関係業務、生活および学習に係わる助言、その他の公的業務
6. 本学と在外大学との「姉妹校関係」の締結およびその関係継承に係わる業務
7. 本学の研究教育に係わる外国または外国人からの問い合わせに対する窓口業務
8. その他本学において国際的な研究教育事業を実施する場合にそれに付帯する公的業務

（七）附属研究所

〈キリスト教文化研究所〉

世界のさまざまな民族と宗教に関する学際的研究を推進し、それを通して、キリスト教文化の理解、ならびにわが国におけるキリスト教主義教育の発展に貢献しようとする目的で設置されている。

〈生活環境科学研究所〉

本学における生活環境科学に関する研究を推進し、教育の向上に資するとともに、広く学術文化の発展に貢献することを目的として設置されている。

〈人文社会科学研究所〉

本学における人文社会諸科学の研究を推進し、教育の向上に資するとともに、広く学術文化の発展に貢献することを目的として設置されている。

〈発達科学研究所〉

子どもの発達と教育および福祉に関する学術的研究を推進し、子どもたちの幸福の実現に寄与することを目的として設置されている。

（八）大学附属幼稚園

本学は大学の学生に研修、実習の場を供する目的から、附属幼稚園を設置している。

創 立 1956年（昭和31年）4月

所在地 桜ヶ丘キャンパス内

構 成 6クラス、定員152名（3・4・5歳児各2クラス）